

放課後等デイサービス支援プログラム

事業所名 児童デイサービスあおぞら

作成日 2025年3月1日

法人理念	障がいのあるなしにかかわらず、全ての子ども達が豊かに育ち合える地域づくりをめざします。 (2005年1月31日「NPO 法人むつ下北子育て支援ネットワークひろば」法人格取得の設立趣意書より)		
支援方針	一人一人の人間性の成長にしっかりと目を向けながら、子どもが安全、安心して自分らしく過ごせる居場所として、学校や家庭とは異なる地域での多様な遊びや体験の場を提供します。それらを通じて、自尊心や主体性を育て社会生活に必要な力が身に付くよう、保護者と連携しながら個別に対応します。		
営業時間	9時から18時まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握：健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援。検温はじめ健康チェック。利用中の体調変化には適切な対処。 健康の増進：睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムが身に付くよう支援。口腔内機能、感覚、咀嚼、嚥下、姿勢保持、手指の運動機能に応じた自助具等の支援。衣服、室温調節、換気、病気の予防や安全への配慮。 基本的な生活スキルの獲得：身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等生活に必要な基本技能を獲得できるよう支援。 	
		<p><プログラム例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレトレーニング、歯磨き、着替え ・調理やお菓子作り等を通じた食育 ・時間に応じた行動の切り替え ・避難訓練 ・金銭学習（買物体験、金種の理解） 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な遊びや課題を通して、身体や手指の使い方を支援。 ・なわとび等粗大運動だけでなく、はさみ、書字、塗り絵、貼り絵、シール貼り、折り紙、工作等微細運動の提供。 ・保有する感覚の活用：視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用できるような遊び。 ・身体の移動能力の向上の支援。 	
		<p><プログラム例></p> <p>散歩、トランポリン、季節の工作、新聞遊び、体操、ダンス、バランスボール、砂遊び、ビジョントレーニング、音楽療法</p>	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚や認知の活用：視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して認知機能の発達を促すための制作活動を取り入れる。 ・認知や行動の手掛かりとなる概念形成：物の機能や属性、形、色、音の変化、大小、数、重さ、空間、時間の概念の習得のための働きかけ、日常的な声掛け。 ・こだわりや偏食に対する支援。 ・行動障害への予防及び対応：感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難さから生ずる行動障害に対して事前に環境調整など予防策を講じ、適切行動への対応の支援。 	

	<p><プログラム例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知教材の活用（型はめ、シール貼り、点描画など） ・ブロックなど立体の造形物を使った創作活動 ・音楽やリズムを使って五感を刺激する活動（音楽療法のミニコンサート） ・ビジョントレーニング
言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の獲得：挨拶や自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやり取り ・読み書き能力の向上のための学習支援 <p><プログラム例></p> <p>プリント学習、お習字、ゲーム（かるた、トランプなど）</p>
人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・愛着行動の形成と情緒の安定：人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援。 ・模倣行動の支援：遊びを通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援。 ・感覚、運動遊びから象徴遊びへの支援：感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して徐々に社会性の発達を支援。 ・一人遊びから協同遊びへの支援：一人遊びから並行遊び、大人が介入して役割、分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して社会性の発達を支援。 <p><プログラム例></p> <p>ごっこ遊び、模擬店、各種集団ゲーム遊び</p>
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）の安定、家族からの相談に対する助言等 ・家族のレスパイトの時間の確保、就労等による預かりニーズに対応 ・保護者同士、きょうだい同士の交流の機会の提供 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、研修の実施 ・関係機関との連携
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会への参加、包容（インクルージョン）に向けた取り組み 障害の有無にかかわらず、全ての子どもが共に成長できるような多様な学習、体験 ・地域の学校や放課後児童クラブ、地域住民との交流 ・入学、進学、卒業後の移行に向けた支援。障害特性などの情報の共有
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わる地域との関係機関との連携支援 ・学校、医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、児童相談所等との連携 ・自立支援協議会等への参加
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なスタッフミーティング、療育会議 ・事業所内外での各種研修（リモート研修含む）への参加
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事、制作 ・調理活動 ・ニュースポーツ体験会 ・外部講師による音楽療法を取り入れたミニコンサート ・社会体験活動・・・買い物、市内外の施設見学、体験、バスや電車乗車体験等